

ETAJIMA GoON! Vol.3



(株)安原自動車 安原さん

ほうじじ 寶持寺・山下 崇晴さん

私自身が『作法』の発信源に。 実際に来て、見て、感じていただけたら。

いきなり飛び込むこととなり、僧侶として未熟であった当時は、甚大な被害をもたらした災害と復興との向き合い方に、自分自身の中で色々葛藤するものもありました。それから、あらゆる問題に直面しながらも、本堂を再建できたのは平成24年5月のこと。行事の中で昔から特に大切にされてきた「お釈迦様降誕会法要(花まつり)」で多くの方々に見守られながら本堂落慶式を執り行うことができました。現在も、地域の方々と共に、残った仏具や仏像を修復しながら、寶持寺の復興に向けて着実に歩んでいます。

再生のヒントは足元から

今、江田島市では地域の活性化に向けて、積極的に新しいことに取り組んだり、盛り上げていこう!という動きがありますよね。私も住職になってから、自分が成すべきこと、いま出来ることを考え、少なからず色々なものに取り組んできました。しかし、日々の修行や、また、お寺の復興を通して知ったことは「まずは足元から見直すことが大切」ということです。

私たちが暮らす江田島市は、歴史や文化が非常に豊かな島であり、これらが島の根っここの部分なのではないかと思えます。私自身、活動を通して全国あらゆる場所に行っていますが、「良い町だなあ」と思ったところ



(写真) 綺麗に修復された仏具や仏像たち。

としてみても、奥行きが無く、尻すばみしすばみしすまいます。大事なのはこの土地で経験から

曹洞宗の修行は、滝に打たれるとか何も特別なものではありません。朝起きて布団をたたむ、顔を洗い歯を磨く、食事をいただく。そのような日常生活の1コマ1コマを、作法に従ってまっすぐに努めていくことなんです。

寶持寺では、毎週坐禅会を開催していますが、この坐禅や作法も事実、仏様をまねることです。また、こうしたお寺の作法は、長い時間をかけて先達たちが培ってきた、最も洗練された『命の生活体系』とも言えます。それを皆さんに伝えていきたい。最近、ほとんどの人は、葬儀や法事の場面でしょうかさんの活動を見る機会がないと思いますが、本来お坊さんの活動や修行の場は中心は生活にあるんです。また、こうした普段の生活態度は、いざという時に出てくるものです。

最後に、寶持寺は陀峯山のふもと、四季折々豊かな能美の自然に囲まれて活動しています。これからも地域に暮らす皆さんの平安と繁栄を祈りながら、共に心を育みつつ、生活に根付いたお寺を復興していけたらと願っています。まずは、お寺に足を運んでいただき、実際に肌で感じていただけたら幸いです。



Vol.3 大柿町・大原 ほうじじ 寶持寺

平安と繁栄を 祈願し続けてきた お寺と住職のおはなし。

住職の後ろに見える本堂は、4年以上をかけて完成したもの。彫刻などはほとんど無いが、木のぬくもりを感じられる温かい仕様になっています。

江田島市唯一の禅寺、寶持寺。1200年以上もの間、能美島の平安と繁栄を祈り続けてきたお寺の住職・山下崇晴さんにインタビューしました。

豪雨災害からの復興、自身の葛藤や問題乗り越えた『今』伝えたいことは。

忘れてはいけない 寶持寺災害と復興

寶持寺は平安時代に創建された、江田島市内で一番歴史が古いお寺です。若い人たちは知らないかもしれませんが、平成11年6月29日に起きた集中豪雨による土砂災害によって、本堂をはじめとする伽藍のほとんどを寶持寺は失っています。当時、私は21歳、愛媛県にある瑞応寺専門僧堂にて修行させていただいていたました。私は『首座(しゅそ)』という修行僧のリーダー役を担っていて、本来であれば、絶対に外に出てはいけないという立場ではあったのですが、「お寺が流された」という母からの電話で、急遽島に帰ることになったんです。そこから私が私と寶持寺の再建・復興という大きな縁の始まりでした。

想像以上に変わり果てた姿のお寺、周りの環境、そして当時85歳であった先代住職の愕然としていた後ろ姿。今でも忘れることのできない、忘れてはいけない大きな出来事でした。私も災害の波の中で培った「人の智慧」なんです。とにかく、人を大事に、地道に智慧を育てていくことが必要だと思います。

平安時代に創建された、江田島市内で一番歴史が古いお寺。能美島全島の祈願所として、平安と繁栄を祈り続け、島内外すべての人々を信徒とし、様々な能美島の歴史とともにずっと在り続けてきたお寺です。干ばつの時に陀峯山に登り行われてきた雨乞いや、大災害時に亡くなった人々の供養など、島をあげての公式行事も当寺院が執り行っており、島に住む人々の暮らしと共に歴史を刻んできました。

寶持寺 ほうじじ

http://hojiji.jp/ 大柿町大原 3413-1 (陀峯山ふもと) ☎(0823) 57-2096 / FAX (0823) 57-2208

オリジナル御朱印

住職手作りの御朱印はハンコもオリジナル!訪問した際は是非お手に取ってみてください!

- プロも驚くという、手作りの枯山水も見どころのひとつ。
- 丁寧に手入れされた、四季折々の豊かな花や緑に囲まれている寶持寺。
- 住職が1枚1枚手描きで仕上げる人気の御朱印。